

全国ご当地エネルギーによる 参加型温暖化対策の 仕組みづくり・協働・実装

つづける助成

2年目

知識の提供・普及啓発

加盟団体への
学生インターンの派遣 4人

海外での発表・交流 4回

今年度計画の達成度 80%

目標達成度 70%



マリの世界ご当地エネルギー会議の様子

活動内容と成果

①地域エネルギーの事業化を支援し、3地域で実施できた。ご当地電力選択・支援拡大のため「ご当地電力証明書」制度を運営した ②小型木質バイオマスボイラーのモデル導入を実施し、マニュアル・導入シミュレーションを作成、会員へ普及した ③国内外の協働ネットワークを構築し、ノウハウや問題解決手法を共有し活性化を図るため、世界ご当地エネルギー会議をはじめサミットやプロジェクトを開催、議論に参加した。また地域の人材育成のため、学生を会員団体へ派遣した ④発電所見学ツアーやニュースレターにより認知度向上を図った

課題

全国各地のご当地エネルギー事業拡大のため、相互支援的な国内外のネットワーク構築と維持・拡大、協働を取り組める新たな社会ビジネスモデルの構築が課題となっている。

目標

会員団体と協働し地域主導の新たな分散型モデル事業を立ち上げ、導入していく。また、国内外のネットワークを構築することにより、経験・情報・ノウハウの共有を図る。



福島の飯館電力にて説明を受ける
インターン

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

系統接続の制約やFIT 価格の低下等、事業環境が厳しくなる中で、専門的な知識やノウハウ、新たな仕組みづくりが一層必要。

■工夫した点

地域の若手人材を求める声と、学生の地域への興味関心双方を汲み、見学にとどまらず、実務に関わるインターンとして派遣した。



今後の
展望

自然エネルギー100%に向け、地域主導の自然エネルギー事業を着実に増やしつつ、既存の事業者がアイデアや構想を具現化し、活動をさらに発展させていけるよう、ノウハウや経験共有のためのネットワークを強化する。

| 活動地域 |  日本全域

〒160-0008
東京都新宿区四谷三栄町16-16 iTEX
電話：03-3355-2212
<http://communitypower.jp/>

